

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

が

とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

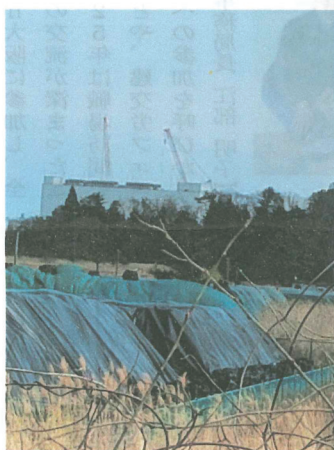
3・29〜30 北部支部 福島を忘れないツアー開催

北部支部は、福島を忘れないツアーを3月29日〜30日、18人の参加で行いました。29日は小雨が降るなか池袋西口芸術劇場前から27人乗りの中型バスで宮城県牡鹿半島にある東北電力女川原発をめざし出発。(女川原発は外部電源が維持出来たため福島第一原発のようなメルトダウンをまぬがれました。しかし、2024年10月、地元の反対を押して女川第二原発が再稼働しました)



福島第一原発が見える場所で祈念撮影をしました 高压線には電気が通っていません

のは午後4時15分過ぎでした。予約が必要なことも知らずに、午後4時半閉館のPRセンター受付に直行し「女川原発を見に来ました」と伝えると、なんと「良いですよ」の返事。PRセンターの2階から海に面した真下の原発を見るのが出来ました。宿泊先の石巻サンプラザホテルに地元塩釜支部の平山さんを迎え、夕食懇親会は盛り上がりました。二日目の30日は福島第一原発と原発近くの放射能被害が大きかった地域をガイドの島田さんの案内で1時間半ほど視察しました。最初に、海岸からわずか300メートルの場所



福島第一原発 除染土の仮置き場

所にあつても教職員生徒82人全員が難を逃れた浪江町立請戸小学校現在津波にさらされたそのままの状態になっている学校に入っ

て見学ができます。遠くから視察。慰霊碑のある場所から手を合わせ早々にバスに乗り込み第一原発が見える場所まで移動。電気の通っていない高圧線の鉄塔、袋詰め汚染土が積まれた仮置き場、遠くに小さく見える第一原発を背景に記念撮影。そこから第二原発に向かいガイドさんの説明を聞きながら車窓から視察。除染はこれからという地域を眺めると、家々は当時のまま放置され、田んぼは木や草でおおわれていました。戻つて来た人はほんの少しさそうです。原発の被害補償も道一本挟んで1人につき数百万円の違いがあり被害者間の不満は大きいとの説明を聞いて複雑な思いがしました。

参加していただいた組合員のみならずはじめ、旅程を立てた勤労者レクリエーション協会、バスドライバー各位に感謝します。ありがとうございました。

【北部支部 福島を忘れないツアー 幹事 岩山 真一】

東京トラック部会では、前日の雨が嘘のように晴れ渡る中、全国トラック部会統一宣伝行動をJR新木場駅前で開催しました。当日は、神田支部(上村・石塚・西原)・豊島運送支部(大西)・中央運輸統合分会(義金)・京王新労組(佐々木)・東京都本部より(笹原・清水・畠中)の9名が集まり、朝7時より宣伝行動を開始しました。この新木場駅は、昔から地名の通り木材の物流拠点と物流会社が密集する地域で、通勤する人も物流会社に仕事に行く人が多数いる駅であります。宣伝内容としては、トラックドライバーの状況(賃金・長時間労働)の実態、そしてエン

ドューザーへの呼びかけ(送料無料・指定配達)など東京トラック部会幹事が中心に呼びかけを行い、その他の人は、駅から出てくる人に対し、組織拡大・トラックの現状を踏まえたティッシュを配布しました。途中、宣伝を聞いた方からは、「昨年ここで宣伝行動をして聞いたけど働き方も含めどう変化したのか?」「トラックドライバーが劣悪な環境下で今も働いている現状を聞いてびっくりした」との対話ができました。また、用意した宣伝物も9時終了まで1000個を撒きまきり、最後に集合写真を撮り終了しました。宣伝活動を通じ私達の業界の実態を改めて知ってもらったことや、今後の生活改善も含め訴える事ができるとも良い時間になりました。早朝よりご参加の皆さんありがとうございました。

全国トラック部会 統一宣伝行動 4.4東京トラック部会 新木場駅前宣伝



写真左から神田支部上村さん・西原さん、豊島運送支部大西さん



新木場駅前で開催しました

事務局長 上村 誠

東京女性部 第25回定期大会・学習会 開催

2月8日、第25回東京女性部定期大会を都本部会議室で開催し全体で8名が参加しました。4月1日の育児介護法改正に伴い猪野社労士事務所、山本麻由美社労士を講師に「育児介護休業制度と両立支援助成金制度」をテーマに学習会を開催しました。助成金を受けられる条件は「①中小企業である②就業規則(労働協約)に育児介護休業を定めている③制度の利用促進についての方針を全労働者に周知④一般事業主

国民春闘共闘・東京春闘共闘 4・9最賃ビッグアクション

国民春闘共闘・東京春闘共闘は「賃金大引き上げ!最賃再改定!春闘勝利!4・9最賃ビッグアクション(第2派全国統一行動)」を、厚労省前で開催しました。主催者を代表して挨拶をされた東京春闘共闘会議の矢吹義則代表は「25春闘は医療・福祉の分野が大変厳しく、一時金の削減などマイナスの提案が全国の職場でされている。病院経営の問題は、厚労省・国の責任である。命を守る医療現場に予算を付けるべきで、福祉予算を削って防衛費を増額する

行動計画を策定し届け出ている(育児関係のみ)の4点です。参加者からは「介護休業について、職場では1つのプロジェクトチームで仕事をしているため短時間就業での出入りがあると周りに影響がでる」などの感想が出されました。各職場から職場の状況が報告され、それぞれの近況も報告されました。事務局からは24年活動報告、25年運動方針提案、一年の取組みとして有明防災センター見学、第24回憲法カフェをオンライン併用で開催し「戦争の準備でなく平和の準備」のパンフレット学習、建交労女性部第25回



25春闘は多くの職場でストライキが行われています 厚生労働省前に各単産から約400名が集いました



東京都本部会議室で開催しました

東京青年部 第24回定期総会 開催 ~「いざ」という時に頼れるのは労働組合~

1月31日(金)建交東京青年部は第24回青年部総会を開催し、1年間の総括と活動方針を確認しました。来賓に東京地評青年協常任幹事の新倉大輔さんが参加されました。新倉さんは「少数であっても職場を超えて繋がりを持つ組合があることは貴重です。フジテレビでも組合員が80名から500名に増員するなど、いざという時に頼れる存在にな

ります。誇りを持って組合活動をしていきましょう。」と挨拶されました。昨年は東京青年部から原水爆禁止世界大会in広島や、全国青年部主催の反核キャンペーン学習会に参加するなど、

組合掲示板

- 5月 1日(木) 10時~第96回中央メーデー/代々木公園、13時半~三多摩メーデー/井の頭公園西園競技場
- 5月 3日(土) 13時~憲法集会/有明防災公園(有明駅、国際展示場駅)
- 5月 6日(火祝) 12時集会、13時出発 原水爆禁止国民平和大行進/東京夢の島公園前(新木場駅)
- 5月 7日(水) 9時集会、9時20分出発/港区立芝公園(都営三田線芝公園駅近く)
- 6月 5日(木) 18時15分集合18時30分開始環境の日世界環境デー都本部統一宣伝行動/赤羽駅西口

中に「応援してるよ」と声をかけてくれる社員もいた。この活動が会社を動かし、今年1万5千円のペアを勝ち取った。あきらめずに奮闘しよう!」訴えました。

【執行委員 笹原 和樹】

第10期建交労東京学校開校 4・19 第一回講座開催
4月19日(土)に第10期建交労東京学校が開校しました。今回は全4回シリーズで、第1回は「メンタルヘルスに関わる労働相談への対応と事例報告」と題して、働くもののいのちと健康を守る東京センターの門田(かどた)裕志事務局次長を講師にお招きし、神田支部会議室にてリモート併用で開催されました。門田さんは講演の冒頭に、労働相談者の多くが抱えるメンタルヘルスの要因としてパワハラを挙げ、現行制度の紹介と不十分な点を整理しながら「特に安全衛生に関わる法の改正や法

の解釈の違いが、職員間に業務のやり方のギャップを生み、パワハラに繋がる傾向がある」と強調されました。「例えば、労働安全衛生法ではかつて人が人を抱えて移動させることは許されていたが、今は禁止されている。労働者が学んできた教育に世代による違いがあることを互いに理解する必要があります」と述べました。また「職種や職場が異なればパワハラに該当する行為も異なる」と述べ「解決に向けては、特に安全衛生に関わる観点で、業界全体の規定や課題なのかどうか、職場オリジナルの規定や課題なのかどうか、全体象をよく解明した上で対応すること



講師:講師の働くもののいのちと健康を守る 東京センター 門田 裕志 事務局次長

また新たな1年を元気に活動します。昨年に引き続き関東支部の石川陽一さんが部長に、鉄道の秋山哉保さんが副部長に留任しました。

【事務局次長 笹原 和樹】